

第103期 株主通信

2018年1月1日～2018年12月31日



Contents

- 02 社長メッセージ
- 03 連結財務ハイライト
- 04 中期経営計画「中計'17」の進捗
- 05 TOPICS(2018年の主な出来事)
- 06 株主優待のご案内/株式の状況/株主メモ

TOYO TIRE 株式会社 証券コード 5105

概要 (2018年12月31日現在)

商号	TOYO TIRE株式会社※	従業員数	12,804名(連結)
(英文表示)	Toyo Tire Corporation※	本社	〒664-0847 兵庫県伊丹市藤ノ木2丁目2番13号 TEL:(072)789-9100
		工場	仙台工場/桑名工場/兵庫事業所
設立	1945年8月1日	主要製品	各種タイヤ(乗用車用、トラック・バス用、建設機械用、産業車両用)、その他タイヤ関連製品 自動車用部品(防振ゴム、トラック・バス用空気バネ、等速ジョイントブーツ)
資本金	30,484,627,991円		

※2019年1月1日に商号変更しました。

社長メッセージ

当期の経営成績

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第103期(2018年1月1日から2018年12月31日)の業績の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

当期における経済環境は、米国では良好な雇用・所得環境を背景に個人消費が堅調に推移し、景気の拡大が持続しました。欧州でも、景気は緩やかに回復しました。わが国では、企業収益と個人消費が堅調に推移したことにより、景気の回復基調が続きました。しかしながら、世界的な貿易摩擦の激化懸念により、先行きの不透明感が拭えない状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは2017年度を起点とする4ヵ年の中期経営計画「中計'17」の目標達成に向けて、北米市場の商品力強化と増販に向けた体制強化、商品ミックスの最適化、開発力・技術力の進化、ブランド力の向上と効率的な供給体制の構築などに取り組みました。

その結果、当期の当社グループの売上高は3,932億20百万円(前期比2.9%減)、営業利益は423億90百万円(同6.4%減)、経常利益は383億79百万円(同4.5%減)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、製品補償対策費、製品補償引当金繰入額及び減損損失を特別損失として計上したことにより、105億53百万円(同31.8%減)となりました。

なお、売上高の前期比には、前期末に実施した化工品事業(建築用免震ゴム事業を除く)及び硬質ウレタン事業の譲渡による影響額242億65百万円が含まれています。

次期の見通し

2019年12月期の業績見通しにつきましては、売上高は4,000億円、営業利益は400億円、経常利益は372億円、親会社株主に帰属する当期純利益は239億円を見込んでいます。

タイヤ事業においては生産能力増強や研究開発費等を中心に先行投資を積極的に行う一方で、自動車部品事業においては収益構造の改善に向けた取り組みを進めていきます。

なお、配当につきましては、年間配当金として1株当たり45円(中間配当金20円、期末配当金25円)を予定しております。

新たな挑戦へ

当社は、2019年1月1日付で社名(商号)を「TOYO TIRE 株式会社」に変更しました。社名にTIRE(タイヤ)と掲げる唯一の国内メーカーとして、名実ともにモビリティ事業を中核に据え、新たなスタートを切っています。あらためて、この事業に携わる「誇り」と「責任」を持ち、今後ともモビリティ社会に貢献し続けてまいります。

本年を「第二の創業の年」と位置づけ、不易流行という言葉の通り、守るべきを守り、変えるべきを変えて、新たな挑戦に乗り出していく所存です。株主の皆様には、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

清水隆史

実績/予想と「中計'17」

	2018年度実績	2019年度予想	「中計'17」 2020年度目標
売上高	3,932億円	4,000億円	4,800億円
営業利益	423億円	400億円	600億円
営業利益率	10.8%	10.0%	12.5%

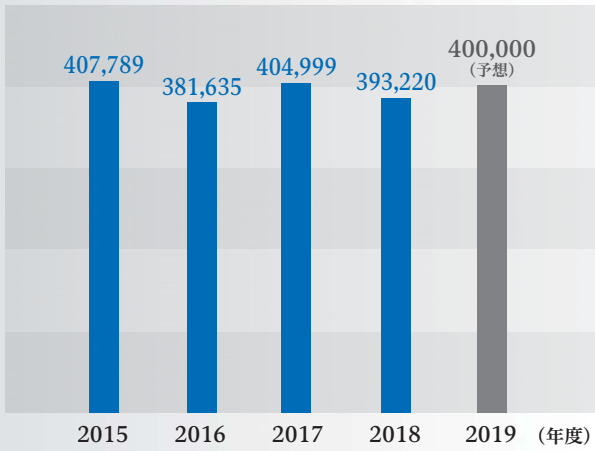
1株当たり配当金

2018年度実績		2019年度予想	
中間期	期末	中間期	期末
20円	25円	20円	25円

連結財務ハイライト

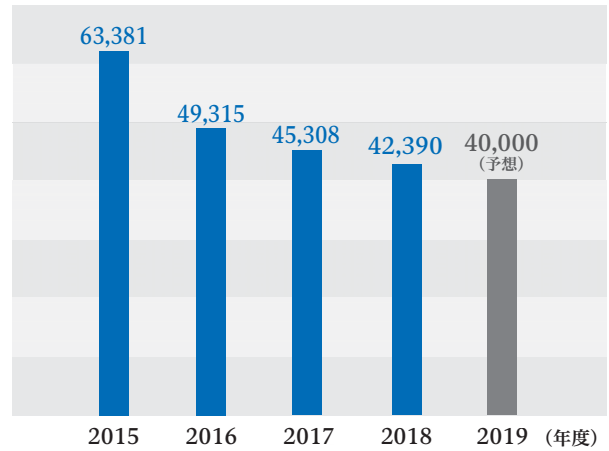
売上高

(百万円)



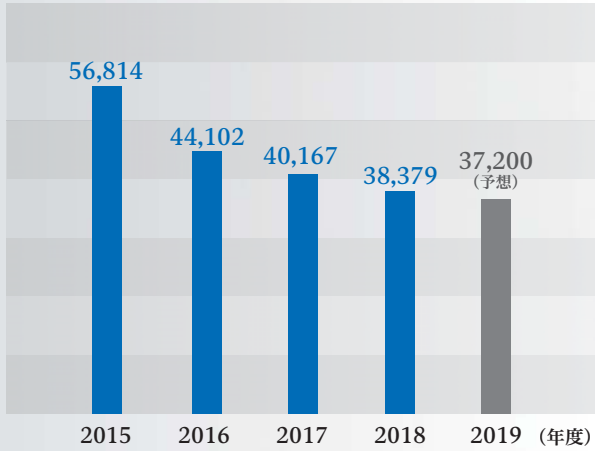
営業利益

(百万円)



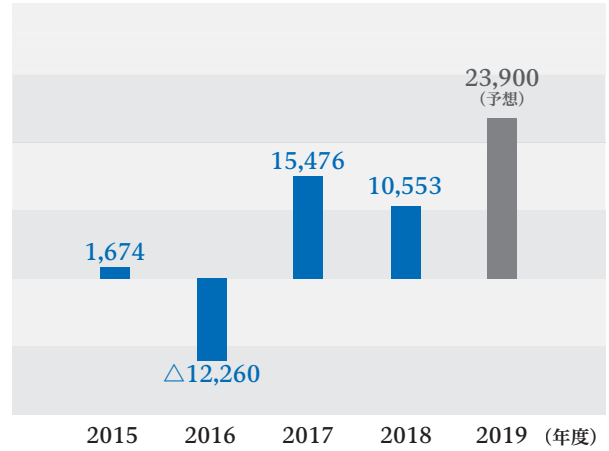
経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



※(予想)は2019年2月15日発表値

事業別売上高比率

タイヤ事業



売上高は3,416億94百万円(前期比4.5%増)、営業利益は468億79百万円(同1.8%増)となりました。

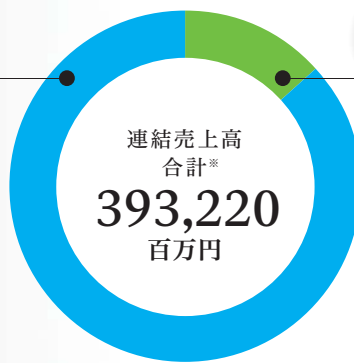
341,694百万円
86.9%

自動車部品事業



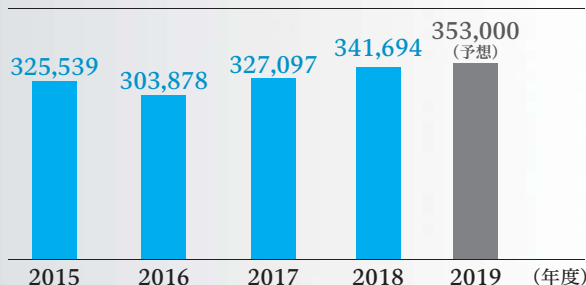
売上高は514億66百万円(前期比33.9%減)となり、営業損失は45億37百万円(前期は8億51百万円の損失)となりました。

51,466百万円
13.1%

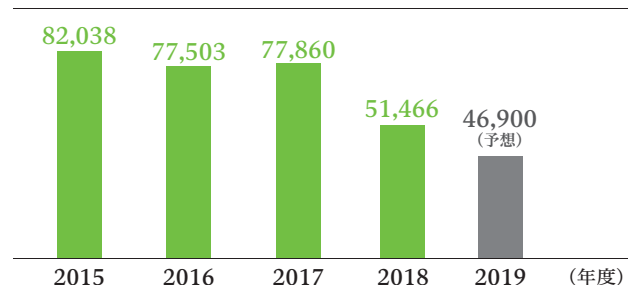


※売上高の合計には、その他事業の売上高及び調整額が含まれています。

タイヤ事業売上高(百万円)



自動車部品事業売上高(百万円)



※2017年度まではダイバーテック事業(化工品事業及び硬質ウレタン事業を含む)の数値

中期経営計画「中計'17」の進捗

当社グループは2017年度を起点とする4ヵ年の中期経営計画「中計'17」を経営の基軸に置き、将来を見据えた「事業経営の推進」と「経営基盤の強化」に総力を挙げて取り組んでいます。

供給体制の強化

世界的なタイヤ需要の増大に対応するため、米国及びマレーシア工場の生産能力増強を進めています。第一段階として、2019年4月に米国工場にて年産120万本、同年10月にマレーシア工場にて年産240万本の増産体制が整います。 ※生産本数はいずれも乗用車用タイヤ換算



米国工場(ジョージア州)



マレーシア工場(ペラ州)

戦略商品の拡販

SUVなどの本格的な大型車両向け大口径タイヤにおいて、北米市場を中心に高い支持と評価を獲得してきました。引き続き、グローバル市場全体で拡販に取り組んでいます。



OPEN COUNTRY R/T OPEN COUNTRY A/T RIDGE GRAPPLER

技術革新への挑戦

新ゴム配合技術によって、高い耐摩耗性能と転がり抵抗低減の両立を実現したトラック・バス用低燃費スーパーシングルタイヤを商品化しました。北米市場向けに2019年春より供給を開始します。



NANOENERGY M175

NANOENERGY M675

三菱商事株式会社との資本業務提携

当社は、2018年11月1日開催の取締役会において、三菱商事株式会社との資本業務提携に関する契約の締結、及び同社に対する第三者割当による新株式の発行について決議し、2019年2月12日に払込み手続きが完了しました。これにより、三菱商事株式会社の当社株式の保有割合は、3.05%から20.00%に増加しています。今後、両社はお互いの経営の自主独立性を尊重し、対等の精神と良好な関係にもとづく長期的なパートナーシップのもとで共に成長し、企業価値の向上を目指してまいります。

2018年の 主な出来事



2018.11.30~12.09

欧州のチューニング車両の祭典
Essen Motor Show に出展



2018.11.09

2018年度第3四半期決算を発表

2018.11.01

資本業務提携契約の締結及び
第三者割当による新株式発行を発表

2018.10.30~11.02

米国最大のトレードショー
SEMA Show に出展

2018.10.27

仙台工場で
「地域ふれあいフェア2018」を開催

2018.09.27

中国工場が生産累計1,000万本を達成



乗用車用、ライトトラック用タイヤの生産子会社
TOYO TIRE ZHANGJIAGANG CO.,LTD.は、2018
年9月27日に生産累計1,000万本を達成しました。

2018.07.05

PROXES Sport SUVが、
「日刊自動車新聞用品大賞2018」で
グランプリを受賞



2018.07.31

東洋ゴムグループ
「CSR報告書2018」を発行

2018.05.11

2018年度第1四半期決算を発表

2018.04.13

SUV用タイヤ「OPEN COUNTRY」シリーズ2商品を国内で発売

2018.04.01

乗用車用低燃費スタンダードタイヤ
「SD-7」を国内で発売

2018.03.01

トラック・バス用低燃費オールウェザータイヤ
「NANOENERGY M676」を国内で発売

2018.02.15

仙台工場および桑名工場の一部リノベーションにより
UHP/SUV用タイヤの供給能力増強

2018.02.15

2017年度通期決算を発表

2018.01.17

GLM社とEV車両向け足回りモジュールの共同開発に着手

2018.01.10

東洋ゴムグループ環境保護基金の2018年度助成先36団体を決定

2018.11.17

桑名工場で地域の
森林保全活動を実施

当社は、桑名工場が所在する三重県東員町の森林一帯で2014年より従業員参加による整備活動を続けています。本年度は、全長600メートルの遊歩道全体の整備活動を実施しました。



2018.10.05

除雪トラック専用スノータイヤM925が
「2018年度グッドデザイン賞」を受賞

新商品M925は、異形V字状の太い溝を主体とした専用のデザインを採用しており、高い駆動性とその性能低下を防止する設計によって冰雪路面においても強力な駆動力を実現しました。



M925

2018.08.03

軟質ウレタン事業の譲渡を発表

当社グループの軟質ウレタン事業(バンパーの販売事業を除く)について、株式会社東洋クオリティワンへ譲渡する株式・事業譲渡契約を締結しました。



OPEN COUNTRY U/T



OPEN COUNTRY M/T

株主優待のご案内



株主優待制度をご活用ください

対象となる株主様

毎年12月末日現在の当社株主名簿に記載または記録されている当社株式1単元(100株)以上を保有されている株主様。

応募カードおよび専用封筒の発送時期

毎年3月末に発送します。

株主優待の概要

トーヨータイヤまたはニットータイヤをご購入いただいた方に、下記条件に応じてクオ・カードを贈呈します。

- サイズに関わらず1本から3本、お買い上げの場合 **1,000円**
- 15インチ以下かつ4本以上、お買い上げの場合 **2,000円**
- 16インチ以上かつ4本以上、お買い上げの場合 **3,000円**

商品券として
使えるクオ・カード
をお届け!



応募カード*

レシートまたは領収書

トーヨータイヤまたは
ニットータイヤ

専用封筒*

※毎期末に
お届け



株式の状況

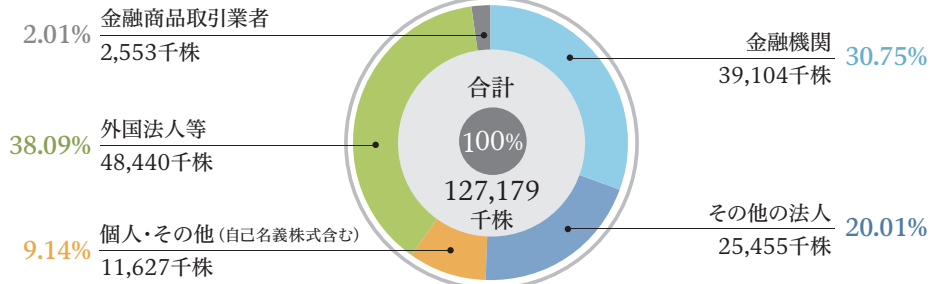
(2018年12月31日現在)

株主数

12,097名

発行済株式総数

127,179,073株



*三菱商事株式会社を割当先とする第三者割当による新株式の発行により、2019年3月28日現在の発行済株式総数は154,111,029株となります。

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から同年12月31日まで

配当基準日 12月31日(中間配当を行う場合は6月30日)

定時株主総会 毎年3月

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関

公告方法 電子公告【公告掲載URL】<https://www.toyotires.co.jp/ir/information/koukoku/>

但し、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式に関するお問い合わせ

お問い合わせの内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ● 住所・氏名等のご変更 ● 単元未満株式の買取・買増のご請求 ● 配当金の受取方法のご指定 ● 相続に関するお手続き 	お取引の証券会社等 ※特別口座に記録された株式については、 下記の三菱UFJ信託銀行 大阪証券代行部にお問い合わせください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 特別口座から一般口座への振替手続き ● 未払配当金に関するご照会 ● その他株式事務に関するお問い合わせ 	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 TEL:0120-094-777(通話料無料)

TOYO TIRE 株式会社

本社 〒664-0847 兵庫県伊丹市藤ノ木2丁目2番13号
ホームページアドレス <https://www.toyotires.co.jp/>



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。